

令和2年度学校経営の基本方針

教育目標

自律

自己理解を深め、自らの言動に責任を持ち、変化の激しい社会を柔軟かつ主体的に生き抜く力を培う。

協働

多様な価値観や人権を尊重し、他者との対話を通して社会に貢献していく力を養う。

創造

幅広い知識や教養、論理的思考力を基盤に、探究の意欲を持ち続け、新たな価値を創出する力を育む。



<育てたい生徒像>

「世界をつなぐ越境者 ~Beyond the hill today, Beyond yourself tomorrow~」

自分の壁やまわりのさまざまな境を超えて挑戦し、いろいろな人々とつながり、自分の世界を広げ、新しい価値を求める人

経営の基本方針

1 生徒・教職員の健康と命を守る

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、できる限りの対策を講じて教育活動を行う。
- ・ICTの積極的な活用など、従来の対応に捉われずに、創意工夫して教育活動を展開し業務を推進する。
- ・全ての取組に対し、かかる労力と効果を常に検証する「働き方改革」の視点から見直し・改善を図る。

2 育てようとする資質・能力に根差した授業改善を推進する

- ・「世界をつなぐ越境者」に必要となる力を育成するための授業改善と公開授業を全ての教科で行う。
- ・「総合的な探究（学習）の時間」が育てたい生徒像を実現するための中核であることについて、すべての教員が理解を深める。
- ・「キャリア・パスポート」を活用し、身に付けさせたい力について、生徒に目標設定と評価をさせる。

3 進路希望の実現に向けて学力を向上させる

- ・生徒との関わりにおいて、個々の実情や背景を十分に踏まえた支援や指導を行う。
- ・「学びの基礎診断」や模擬試験をチェックポイントとして、授業や家庭学習指導を改善・充実する。
- ・生徒が1人1台のタブレット端末を活用する学びを研究し、学力の確実な定着につなげる。

4 将来構想を実現するための教育課程を編成する

- ・英語村、英語教育・国際理解教育の強みをいかし、新たな進学型単位制の教育課程を編成する。
- ・全体計画に基づき、生徒の主体性や自律性を育成する観点で、特別活動を実施・評価する。
- ・部活動について、生徒の自主的・主体的な活動としての充実を図る。